

東京都立 多摩総合医療センター

“船団を想う”～副院長就任のご挨拶～

多摩総合医療センター副院長 上田 哲郎

このたび、平成23年7月16日付で、稲田進一先生の後任として内科系副院長を拝命いたしました。私は、平成2年7月、循環器科が新設されるにあたり、府中病院に赴任致しました。それから21年、循環器科医長、部長、そして多摩総合医療センター循環器内科部長として診療に当たってきました。その間、つらいことも多かったのですが、皆様のご理解とご支援のもと、やりがいがあり充実した仕事のできたので、現在まで頑張ってくることができました。深く感謝申し上げます。

私が赴任した当時、府中病院の循環器診療に関連する設備は古く、スタッフも不十分であり、救急外来対応も満足できるものではありませんでしたが、その後徐々に改善し、心臓血管外科も開設され、また東京都CCUネットワークにも加盟して、現在ではその加盟67施設中、常に10位以内に入るほどの救急患者数を収容する施設にまで成長することができました。その間、病院自体も、救命救急センター開設拡充、ER開設、医師アカデミー開設、病院の移転等々、様々な機会を得るごとに力をつけ、現在では着任した頃には想像できなかったほどたくましく、力強い病院へと成長し、医療連携の上でも、かなり貢献できるようになったと自負しております。

しかし、医療連携上のさまざまな問題点が、まだ多くあることも自覚しており、さらに医療連携の会や研究会等で医師会の先生方とお話しする際には、新しいご指摘もいただいております。また今回、連携ニュースに書かせていただくにあたって、今までの巻頭言にある医師会の先生方から当センターへの叱咤激励や、苦言を再読させていただき、再認識している次第です。言うまでもないことかもしれませんが、医療連携のさまざまな問題に対しては、私どもが勝手に行動するのではなく、近隣の先生方と連携して改善していくことが重要です。その中で先生方のご理解やご協力が必要なことも出てくるかもしれません。その点で、21年間在籍して、連携する多くの先生方や医療機関を知る私が副院長となったことを生かし、顔の見える連携を行いながら、医療連携の持つさまざまな課題を解決していきたいと思っております。

昨年、府中病院は多摩総合医療センターとなり、小児総合医療センターと一体の、いわば大型の船に生まれ変わりました。今後当センターが、大きな荒波にも負けず安全で力強い航海ができ、また近隣の医療機関、先生方と、強固な絆で結ばれた船団となって、さまざまな問題を乗り越え、どこにも負けない、さらに高いレベルの医療を多摩地区にもたらせるよう、これからは循環器内科医の上に副院長の看板も背負って頑張っていければと思っております。よろしく願い申し上げます。



医事課 医療相談係 濱中 知恵子

当センターは、今春、「地域がん診療連携拠点病院」に認定されました。これまで、高度ながん医療のみならず相談や情報提供といったソフト面の充実を図るため、がん相談支援センターを立ち上げ、院外の患者さん家族からの相談を受けるとともに、ボランティアとの協働による患者サロン運営などの新規事業に取り組んでまいりました。



今年度は、新たに「がん情報センター」をオープンいたしました。1階9番入口の小さなコーナーではありますが、がんに関する情報やパンフレット等の掲示、書籍の閲覧、貸出しを行っております。また、がん情報をインターネットで検索できるコーナーも設けました。未だ書籍数が少ないため、貸出しは予約待ちも出ておりますが、順次揃えていく予定です。

この他、情報センターでは、プレストケア

(乳がん術後下着)、ウィッグ(医療用かつら)の説明・相談会を月1回開催しております。斡旋・販売はせず、実際手に取り試着も可能ですので、外来や入院中でも気軽に参加できると好評です。

地域の先生方におかかりの患者さんで、相談会参加のご希望がございましたら、日程などのお問い合わせは情報センター(内線2277)へとお伝えください。よろしくお願いたします。



都立多摩総合医療センター 人事異動

【昇任】平成23年7月16日付
副院長

上田 哲郎

【採用】平成23年6月1日付

歯科口腔外科医長

西堀 陽平

内科医員

後藤 文男

精神神経科医員

児玉 知之

平成23年7月1日付

泌尿器科医員

佐藤 雄二郎

皮膚科(非)

中州 美穂

眼科(非)

原田 高幸

平成23年8月1日付

歯科口腔外科(非)→医員

神山 勲

【転入】平成23年8月1日付

内科医長

伊藤 恵子

【退職】平成23年6月30日付

泌尿器科医員

田嶋 健一

循環器科(非)

古堅 あずさ

皮膚科(非)

田代 吾子

皮膚科(非)

若松 加奈恵

【転出】平成23年8月1日付

内科医長→多摩南部地域病院

小倉 祐紀

精神科医長→多摩総合精神保健福祉センター

野崎 伸次

外来担当医のみ掲載しております。(非)は非常勤医師



東日本大震災におけるこころのケア

精神神経科 医長 正木 秀和

【症 例】 48歳 女性

【現病歴】 夫、高校生の娘と暮らしている主婦。3月11日に発生した東日本大震災で津波被害にあった。娘と一緒に津波で流されたが、途中で娘と離れ離れになった。本人は奇跡的に津波の到達した終点で打ち上げられて一命をとりとめ、怪我も軽傷であった。しかし後日、夫と娘の死亡が確認された。自宅は全壊したため、避難所で生活した。自分だけが生き残って家族を助けられなかったことの罪悪感に打ちひしがれた。毎晩のように津波に流された時のことを夢に見て眠れなくなった。余震があると極度に不安で動悸がするようになった。現実感がなくなり、物事に集中できなくなった。避難所を巡回した保健師からこのような状態にあることがこころのケアチームに報告され、4月上旬に往診された。

【現 症】 表情や口調から疲弊の強さが読み取られる。フラッシュバック、悪夢が続き、不眠となっている。罪責感が強く、現実感も喪失していて、集中力が低下している。ただし、これら症状は自然経過の中で少しずつ軽減してきているようである。

【解 説】 東京都では、3月23日からこころのケアチームを岩手県陸前高田市に派遣してこころのケア活動を継続しています。各都立病院、公社病院、民間の精神科病院などが交代で活動しており、当センターからも精神科医師、看護師、精神保健福祉士、心理士、薬剤師を派遣して活動してきました。

こころのケアチームが行う業務には、①既存の精神障害患者の診療、②震災によって生じた精神的問題への対応、③現地の医療従事者や行政職員の精神的ケア、の3つがあります。

本症例は②にあたり、現症に記載した症状が被災後に出現していて、急性ストレス障害（ASD）と診断されます。

ASDは自然回復する可能性が高いとされています。本症例も、薬物療法は少量の睡眠導入剤の投与に留め、起こっている症状は被災に伴う通常の反応であることを説明し、支持的に対応して経過をおったところ、症状は徐々に軽快しました。

ASDの一部は、症状が慢性的に（DSM-IVの診断基準では1カ月以上）持続して心的外傷後ストレス障害（PTSD）に発展することがあります。PTSDは、SSRIを中心とした薬物療法や心理療法といった専門的な医療が必要となることが多く、見逃さないよう注意が必要です。

こころのケアは、身体の医療救護活動と比較して中・長期的な活動が必要であると言えます。東京都では、9月末日までこころのケア活動を行うことが決まっていますが、その後については未定の状況です。当センターでは、必要とされる限り医療スタッフの派遣を今後も継続していきたいと考えています。



●● 各種講習会・勉強会のご案内(医療従事者向け) ●●

多摩・小児周産期医療連携勉強会 (会場：多摩総合医療センター議堂フォレスト)

日時：平成23年9月29(木) 19:00～20:30

- 「都立多摩総合医療センター産科におけるIABOの使用経験について」
多摩総合医療センター産婦人科医員 高野 みずき
- 「先天性心疾患の出生前診断について」
小児総合医療センター循環器科部長 澁谷 和彦

医療連携臨床懇話会：平成23年10月20日(木) 19:00～を予定しております。

※詳細が決まり次第、別途ご案内いたします。

●● 各種講習会・勉強会のご案内(患者さん向け) ●●

※参加無料、事前予約不要です

糖尿病講習会 (会場：都立多摩総合医療センター議堂フォレスト)

- 「糖尿病の内服薬」「糖尿病の運動療法」「嗜好品等について」
日時：平成23年9月14日(水) 午後2時から午後4時
- 「メタボリック・シンドローム」「血液検査について」「動脈硬化と食事」
日時：平成23年10月19日(水) 午後2時から午後4時
- 「糖尿病と高血圧」「教育入院について」「減塩方法の実際」
日時：平成23年11月16日(水) 午後2時から午後4時

腎臓病講習会 (会場：都立多摩総合医療センター議堂フォレスト)

- 「慢性腎不全について」「日常生活」「食事療法」
日時：平成23年10月25日(火) 午後2時から午後4時

当院は原則として、**紹介予約制**です。
外来及びCT、MRI検査は必ず予約を取り、
紹介状をお願い致します。

ご意見、ご投稿、お問い合わせは
医療連携係(清水・戸田 内線2171)まで

<電話予約センター>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

TEL：042-323-9200

<FAXによる診療予約>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

FAX：042-323-9205

緊急の場合…必ずご一報ください。

可能な限り専門診療科をご指定の上、
担当医にご連絡ください。

東京都立多摩総合医療センター

〒183-8524 東京都府中市武蔵台2-8-29
TEL 042-323-5111(代表)

